

消化器内科この一年

消化器内科医長 齊藤 裕樹

はじめに

平成18年度も当科において様々なことが起り過ぎて、たくさんの仕事をこなしている充実感というよりも倦怠感、疲弊感が積もっている今日この頃である。

異動について

平成18年3月から4月にかけて、スタッフが千坂から山北に替わっている。また当科スタッフではないが、2年目研修医の岩本と須藤が選択期間としてそれぞれ6ヶ月と3ヶ月間回ってきてくれている。

御礼

研修医のみなさんありがとう。たいしたことは教えてあげられないけど、現在の当科の診療の原

動力は研修医にあるとつくづく思う。

おわりに

個人的なことになるが、疲労を強く感じている今日この頃、逃げ出したい気持ちは変わらない。以下当科の平成18年1月から12月までの検査件数を挙げる。

- 上部消化管内視鏡：2154件
- 上部治療内視鏡：181件
- 下部消化管内視鏡：1177件
- 内視鏡的大腸腫瘍切除術：107件
- 内視鏡的逆行性胆管膵管造影
(碎石術、ドレナージ術を含む)：190件
- 胃瘻(造設+交換)：24件
- 経皮経肝胆管ドレナージ(含交換)：28件
- 経皮経肝胆嚢ドレナージ(含交換)：9件
- 超音波内視鏡検査：83件
- 腹部血管造影(含治療)：33件